

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当院における 5%スコポラミン軟膏の使用評価

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 山本紳一郎(聖隷袋井市民病院 薬剤部 薬剤師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2023年12月31日

目的：スコポラミン軟膏は、流涎抑制を目的に使用される院内製剤である。

海外では、経皮的スコポラミン製剤が市販されており、流涎治療の1つとして用いられ、その有効性が報告されている。一方で、国内では経皮的スコポラミン製剤は市販されておらず、院内製剤としてスコポラミン軟膏を調製しているのが現状である。しかし、流涎に対するスコポラミン軟膏の有効性を検討している報告は少ない。

本研究では、当院での5%スコポラミン軟膏の使用状況を調査し、その有効性について評価する。

方法：カルテを用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2022年1月～2023年10月に当院で5%スコポラミン軟膏を使用した方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：性別、年齢(使用時の年齢)、薬歴(持参薬・当院処方など)、流涎の原因疾患、使用状況や有効性・副作用症状に関する記録(医師・看護師記事)など

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

小出彰文、薬剤部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971